

**令和2年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会  
乳がん部会 概要**

- 1 日 時：令和2年11月30日(月) 13:20～15:00
- 2 場 所：岐阜県シンクタンク庁舎 1-1会議室
- 3 出席者：

|        | 氏名      | 所属   |
|--------|---------|--|
| 委 員    | 山本 悟    | 岐北厚生病院 名誉院長                                      |
|        | 伊在井 みどり | 岐阜県医師会 常務理事                                      |
|        | 森光 華澄   | 岐阜大学医学部腫瘍外科                                      |
|        | 加藤 統子   | 東海中央病院医務局 診療放射線技師                                |
|        | 政井 美春   | 市町村保健活動推進協議会保健師部会 (飛騨市)                          |
| オブザーバー | 加納 美緒   | 可茂保健所 所長 <span style="float: right;">【欠席】</span> |
| 事務局    | 赤尾 典子   | 保健医療課長兼健康推進室長                                    |
|        | 森 稚加子   | 主幹兼がん対策係長  |
|        | 中島 早映   | 技術主査   |
|        | 上口 大輝   | 主事   |

**4 内 容：**

報告：1 令和元年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会乳がん部会議事

2 岐阜県のがんの現状等

3 がんの予防（乳がん検診）の推進について

**(1) 正しいがん検診の実施**

- ・ 今後は感染症の流行下でも、検診現場では感染対策を十分講じており「安心して検診を受けてください」と不安の解消を図り、受診勧奨を継続して行くことが必要。  
また、検診機関も感染対策を効率よく実施し、受診者のキャパシティを減らさないように努めることが重要。
- ・ 視触診は省略できる検診項目であり、感染リスクのある行為であることから廃止する方向が望ましい。

**(2) がん検診マネジメント**

- ・ 精度管理上の課題として、検診機関と委託元の市町村とのコミュニケーションが不十分な実態がある。県の取りまとめた各機関のプロセス指標一覧等を参考に、課題の把握と要因の分析に協力して取り組んでいただきたい。
- ・ 特に個別の精検結果の共有が精度管理には重要であり、市町村から検診機関への還元の取組みを推進していくこと。
- ・ 受診者の詳細な実態を把握することで、特徴や傾向が見えてくる。市町村毎の分析を進めることで効果的な受診勧奨等が検討できる。

### (3) がん検診の受診率向上対策

- ・受診者の年代を把握し、その背景を考えることが必要。市町村の課題解決に向けた取組みを促すこと。
- ・COVID-19 が検診受診者数やがん患者の生命予後にどのような影響を及ぼすのか？データ等注視し、今後の課題を捉えていく。

⇒上記協議結果について、市町村及び検診機関に周知を行い、精度向上に向けた取組みを促していく。